

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃（**、000円）上記は2025年12月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用（パスポートを新規取得、更新の方）：パスポート新規申請代（5年用11,000円 / 10年用16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要）このご旅行には2026年8月27日以降のパスポート有効期限が必要です。（+2週間以上の有効期限が望ましい）
- ◆お一人部屋追加料金：**、000円（ホテルは基本2名一室です）
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用（食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等）
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。この旅行は2025年12月1日現在を基準としています。

- 旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
- <取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
- <解除時期・取消料>

契約の解除期日	
旅行開始後日の前日から起算して遡って30日目以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費：旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、列車料金
③宿泊費：下記ホテル又は同等クラスのホテル（弊社基準）の基本宿泊料および税、サービス料（基本2名一室）
④食事代：旅程表明示 ⑤見学施設の入場料
⑥現地協力者の謝礼・同行費用
⑦添乗員1名同行費用 ⑧視察費用
- 旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
②個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
③航空会社が課す日本空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃（*、000円）2025年12月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
④お一人部屋料金：**、000円
⑤日本国内の交通費、前泊の費用
⑥海外旅行傷害保険料 ⑦オプションツアー代

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中央区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者：西須 輝理

株式会社 **富士国際旅行社**

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
fujikokusaionline@gmail.com 担当: 山田・西須(さいす)・川村・小島

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00 (休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**（旅行代金内金）をご送金ください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。

き・り・と・り

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 リトアニア・ラトビア・エストニア バルト三国独立の歴史を学ぶ旅 2026年5月18日(月)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 () 才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【有・無】 パスポート番号： 有効期限： 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】 () - - 【fax】 () - - 【携帯】 - - 【e-mail】			



リトアニア・ラトビア・エストニア バルト三国独立の歴史を学ぶ旅

旅行期間 **2026年5月18日(月)～5月26日(火) 9日間**

旅行代金 **755,000円** (成田発着) ※左記費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・日本空港施設使用料・保安料**、000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員 **20名様** (最低実施人員10名) 申込締切 **3月18日(水)**

添乗員 **1名同行します**



Check Point!

●各都市の世界文化遺産の歴史地区を見学します

●「命のビザ」を発給し多くのユダヤ人を救った杉原千畝関連地を訪問

●連帯と独立への意思を歌い続けた「人間の鎖」に参加した方のお話を聞きます

Peace Green Humanity

旅行企画・実施

(株)富士国際旅行社

※写真は全てイメージです

〒231-0062
神奈川県横浜市中央区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

日程表

	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 5/18 (月)	成田または羽田発	航空便	成田または羽田空港に集合(集合予定時刻:19時頃) 空路、欧州または中東の経由地へ 機 中 泊 B× L× D機
② 5/19 (火)	経由地着 / 発 ヴィリニウス着	航空便 専用車	空路を乗り継ぎ、リトアニアの首都ヴィリニウスへ 終日:ヴィリニウス市内見学 ◎旧市街(旧市庁舎・聖アンナ教会・夜明けの門) ●KGB博物館(旧ソ連の秘密警察本部の建物) ヴィリニウス泊 B機 LO D×
③ 5/20 (水)	ヴィリニウス発 カウナス着 カウナス発 ヴィリニウス着	専用車	終日:カウナスとトラカイ城の見学 ●杉原千畝記念館 ●第九要塞博物館 昼食後、再びヴィリニウスへ 途中:トラカイ城見学 ヴィリニウス泊 BO LO D×
④ 5/21 (木)	ヴィリニウス発 リガ着	専用車	陸路、ラトヴィアの首都リガへ(所要:約4時間) 途中:シャウレイの「十字架の丘」を見学 午後:リガ市内見学 ●ラトヴィア占領博物館(独立回復の歴史を展示) リガ泊 BO LO DO
⑤ 5/22 (金)	リガ	徒歩	午前:リガ旧市街見学 ●リガ大聖堂 ◎聖ペテロ教会 ◎化薬等 ◎三人兄弟 ◎ユーゲンシュティールの建築群 午後:自由行動 タリン泊 BO L× D×
⑥ 5/23 (土)	リガ発 タリン着	専用車	陸路、エストニアの首都タリンへ(所要:約5時間) 午後:タリン市内見学 ◎トーンペア城 ●聖ニコラス教会 ◎三人姉妹 ◎アレクサンダー・ネフスキー教会 ◎大聖堂 タリン泊 BO LO DO
⑦ 5/24 (日)	タリン	専用車	午前:タリン市内見学 ●KGB拘置監房 午後:タリンで交流 ★「人間の鎖」に参加した方と交流(予定) タリン泊 BO LO DO
⑧ 5/25 (月)	タリン発 経由地	専用車 航空便 航空便	出発まで自由行動 陸路、空港へ 空路、欧州または中東経由で帰国の途へ 機 中 泊 BO L× D機
⑨ 5/26 (火)	成田または羽田着		成田または羽田空港に到着 (到着予定時刻:*時頃) B機

●現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。
【旅程表のマーク】:B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食
OP=オプションツアー、●=入場して見学、◎=外観を見学
【利用予定航空会社】:フィンエアー

5月の気温

都市	ヴィリニウス	リガ	タリン	東京
最高/最低	19℃/8℃	18℃/6℃	16℃/5℃	23℃/19℃



Estonia タリン



エストニア語で「デンマーク人の町」を意味します。かつて交易の中継地として栄え、十字軍の騎士やハンザの商人たちが闊歩した石畳の道が今も残ります。また旧ソ連時代を想起させる遺跡も残されています。



Latvia リガ

13世紀にハンザ同盟の街として、帝政ロシア期には「ヨーロッパの窓」として発展した港町でバルト三国で最大の都市リガ。

Lithuania ヴィリニウス



バルト3国の首都の中で唯一バルト海に面していません。多くの教会が街中に建ち、柔らかな姿の建物が全体を穏和に感じさせる落ち着いた都市です。



タリン旧市街



リガの街並み



ヴィリニウス大聖堂



● 杉原千畝

「東洋のシンドラー」とも呼ばれる外交官です。彼は、第二次世界大戦中の昭和14年(1939年)、リトアニアの在カウナス日本領事館領事代理に任命されました。ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人に対し、外務省からの訓令に反して独自の判断でビザを発給し、およそ6,000人にのぼる避難民を救ったことで知られています。戦後、日本人として唯一イスラエルから「諸国民の中の正義の人」として表彰されています。カウナスの元日本領事館を記念館として一般公開しており、実際の発給したビザなども見学できます



杉原桜公園にある記念碑



『歌う革命』

「歌う革命」※は1987年から1991年にかけて発生したバルト三国の独立を目的とする一連の出来事の総称です。バルト三国は近代において長くロシアの支配を受けていました。一時独立したものの第二次世界大戦後は1939年8月独ソ不可侵条約に付帯する秘密議定書のバルト三国のソ連併合を認める条項により、完全にソ連に組み込まれます。1985年ゴルバチョフ政権がグラスノスチとペレストロイカを導入すると、共同生産体制が緩和され、同時に政治活動への規制も廃止されました。このことは40年代の戦争でソ連に併合された非ロシア地域にとって、独立運動開始への契機となりました。同じ時期、バルト三国でも急速に自立の気運がおこりました。市民への抑圧が緩和されるや否や、たちまち巨大なデモの波がソ連を覆い尽くし、1989年にはソ連からの完全な独立を求める運動へと発展していきます。バルト三のデモはソ連によって禁止されていた国家や民謡、聖歌などをデモに用いることを特徴としていました。1990年3月にリトアニアが独立を宣言し、同年2~3月にそれぞれの国で独立の是非を問う国民投票が行われましたが、いずれも70~90%の賛成があり8月にエストニア、ラトヴィアも正式に独立を宣言しました。※「歌う革命」の名はエストニア人の活動家・芸術家のヘインツ・ヴァルクが、この革命で盛んに行われた音楽を利用したデモにちなんで命名されました。

バルト三国をつないだ『人間の鎖』

1989年8月23日独ソ不可侵条約の締結50周年にあたるこの日、この条約の締結に抗議して、およそ100万から200万の人々が三国の首都タリン、リガ、ヴィリニウスまでの約600キロを手をつないで「人間の鎖」で結んだ。この大デモンストレーションは映像や写真を通して世界の目を引くことに成功し、12月にソ連はバルト三国へのソ連への「編入」は非合法であったと認定した。



ラトヴィアの人間の鎖記念碑